

# 謹賀新年

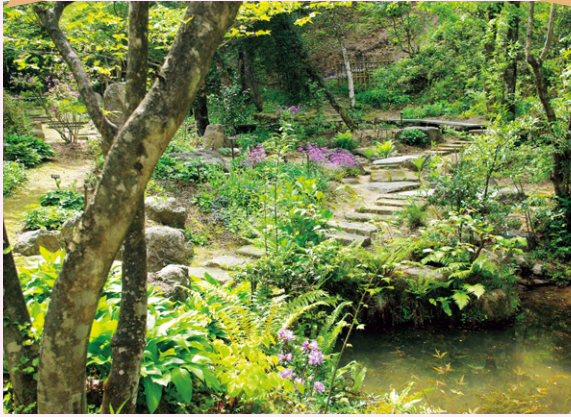


### 本堂裏の斜面の雑木を大伐採!

昨年、二回に分けて、本堂裏の両側の山の斜面の雑木やシダを大伐採しました。あとに残ったのは、みつばつつじ、やさまざまな落葉樹です。日照が改善すれば紅葉もよくなり、山野草も喜びます。境内の前は海(内湾)に面し、三方は山で囲まれています。ここに**自生する一万株以上のみつばつつじ**のほか、山桜・こぶし・ガズミ・サワフタギなどの花木、イカリ草・ササユリ・りんどうなどの山野草が、一年中、目を楽しませてくれます。

境内や最奥にある「**珠山千年石の庭**」の整備も心がけていますが、山野草の管理や自然との調和をはかることに苦労しています。ぜひ、ご覧ください。

### 珠山千年石の庭

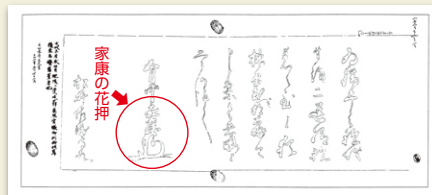


## 如意寺の歴史④

(戦国～江戸)

松倉城に近い如意寺には城主松井佐渡守康之宛の徳川家康書状が伝来していましたが、文政3年豊後日田代官塩谷大四郎の仲介によって松井家に贈られ、現在松井文庫(熊本県八代市)にあります。戦国の慶長四年、細川家軍師松井康之が贈った端午の祝儀(このしろ寿司)への家康の礼状で、文末に「家康」の花押があります。「このしろ寿司」は、今でも久美浜町の綿徳商店(検索)で買える久美浜の冬の名産です。熊本の「このしろ寿司」は、関ヶ原論功行賞で細川家が九州に移った際、新境地の特産品にするために運んだものです。

書状の写し(右記)は、現在でも如意寺に残っています。



### 年間の主な行事

- **初詣** 正月三日間  
新春護摩祈願 甘酒接待
- **節分**  
2月3(金)・4(土)・5(日)  
厄除護摩祈願 甘酒接待
- **日切不動尊大祭** 4月1日(土)  
柴灯大護摩 花説法、もちまき
- **千日会(本尊会)** 8月9日(水)  
護摩祈願 花火、灯籠流し、大文字焼き
- **七五三詣** (10～11月)
- **十三詣** (春・秋)
- **御祈禱、水子供養**  
(毎日9時～16時 随時受付)
- **仏前結婚式**(約40人まで。春・秋、地鎮祭(出張か当寺で祈願)ご相談下さい。

節分護摩祈願の様子



### 今年の厄年早見表(数え年) 厄除祈願

- 男性** 酉年25歳(厄年)、巳年41歳(前厄)、辰年42歳(本厄)、卯年43歳(後厄)、酉年61歳(還暦)、子年70歳(古希)、巳年77歳(喜寿)
- 女性** 卯年19歳(厄年)、寅年32歳(前厄)、丑年33歳(本厄)、子年34歳(後厄)、酉年37歳(厄年)、酉年61歳(還暦)、子年70歳(古希)、巳年77歳(喜寿)

### 春の花 (1～4月)

- 4月5～23日頃  
みつばつつじ 一万株(自生)
- 3～4月の花木  
マンサク、馬酔木、こぶし、モクレン、石楠花、桜
- 3～4月の山野草  
イカリ草、雪餅草、二輪草、山シヤクヤク など



全山を染める「みつばつつじ」(4月5日～20日過ぎ)

### 如意寺周辺(久美浜)および京丹後市の行事(一部)

1月7日(土)～4月2日(日) 久美浜雑祭

「豪商稲葉本家」を中心に雛人形を飾ります。

3月4日(土) 雑祭コンサート

「豪商稲葉本家」で、午前10時より  
6月24(土)～25(日) 坂東玉三郎公演

丹後文化会館(TEL:0772-62-5200)

手づくり竹雛人形  
(豪商稲葉本家に飾ってあります。)



# ありのままに生きるって？

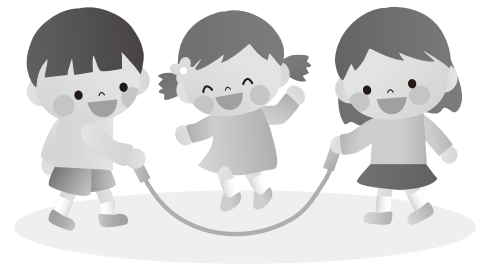
## ～ 今の自分の気持ちを「意識して」見つめてみる ～

あけましておめでとうございます。

昨年新春号で、「正月は“修正する月”」の略であると書かせていただきました。「修正」ですから、何かを無理に変えたりつくったりするのではなく、少しズレたかもしれないことを本来あるべきところへ戻せばよいだけです。しかし、「本来」とか「ほんもの」というのは案外むずかしく、なかなかつかめないのが現実です。何かを変えたり新しく創造する場合でも、それが「ほんもの」と大きく外れていたら、長く受け入れられることはないでしょう。

昨年書かせていただいた、「無理のないありのままの本物の生き方」は、すんだことやどうにもならないことをくよくよ考える「思考」をサッパリと捨てて、「今」という時間や自分の素直な気持ちに従うことで近づくことができます。

それには、「心の余裕」を持つことが大切です。毎日の生活は確かに忙しいものです。やらなければならないことが頭で渦を巻いたり、イライラしていたら、自分の今の姿を見つめることができません。こういう状態を仏教では「無意識」と言います。事故や争いが起きるのは、たいてい「無意識」状態の時です。しっかり「今」を意識すれば冷静になり、この現在において同時に存在している「世界のすべて」とつながることができます。他人の存在、仕事や生活や世の中のこと、自然の意味などがよくわかってきます。人を愛する気持ちも湧いてきます。



さらに、自分の気持ちや体調を考えているか、余計なことに気をとられ過ぎていないか、身勝手ではないか、誰にも公平に接しているか・・・などもわかってきます。

昔は、戦うときには刀や槍などの武器が必要でした。しかし、現代に生きる私たちの武器は、「正しいものの見方」をしっかりと持つことです。仏教でいう「知恵」と「慈悲」です。この二つがあれば、生活の中での争いごとや憂いはぐっと少なくなるでしょう。春風の中に、木刀一本持たずにふらりと立っていただけの柳生石舟斎に誰も太刀を打ち込むことができなかつたように。

「生き方」などというむずかしそうですが、**普段の意識的な生活そのまが「生き方」であり「仏道」であり、その連続が「人生」**です。小さな気づきや試みが、穏やかで心豊かな日々のみならず、心やからだの健康さえも守ってくれます。

この瞬間を最善に生き、私どもを生かしてくれている周囲の人に感謝できる大きな気持ちを持ちたいと思います。一日の刻一刻を「意識して過ごす時間」を少しでも増やして、よりよい一年にしようではありませんか。ともに。

家内安全 息災延命 商売繁昌 五穀豊穰 乃至法界平等利益

### 読者の投稿より

・久美浜湾

山門入りて

秋の声

・夢もって

生き長らえし

父の秋

兵庫県播磨町 藤本さん



## ことば

- ◆ 生きることが人生最高の目的。(グリルパルツアー：劇作家)
- ◆ 一人では何もできぬ。しかし、まず誰かがはじめなければならぬ。(岸田国土：劇作家)
- ◆ 人は自分自身のために生きるより、他人のために生きるほうが、満足が大きいのだ。(ヘッセ)